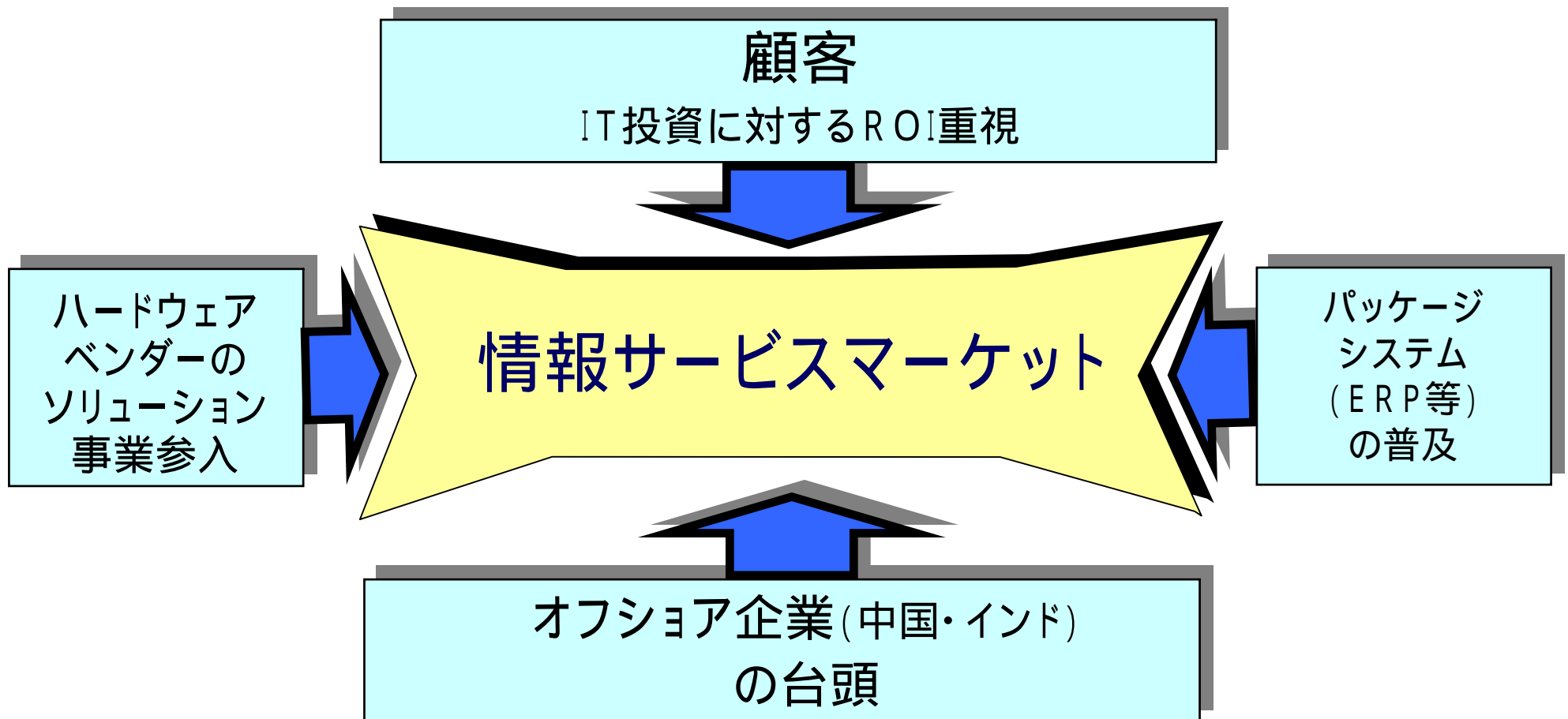

1. 2006年3月期決算について

2. 2007年3月期業績見通し

3. 2007年3月期の重点施策

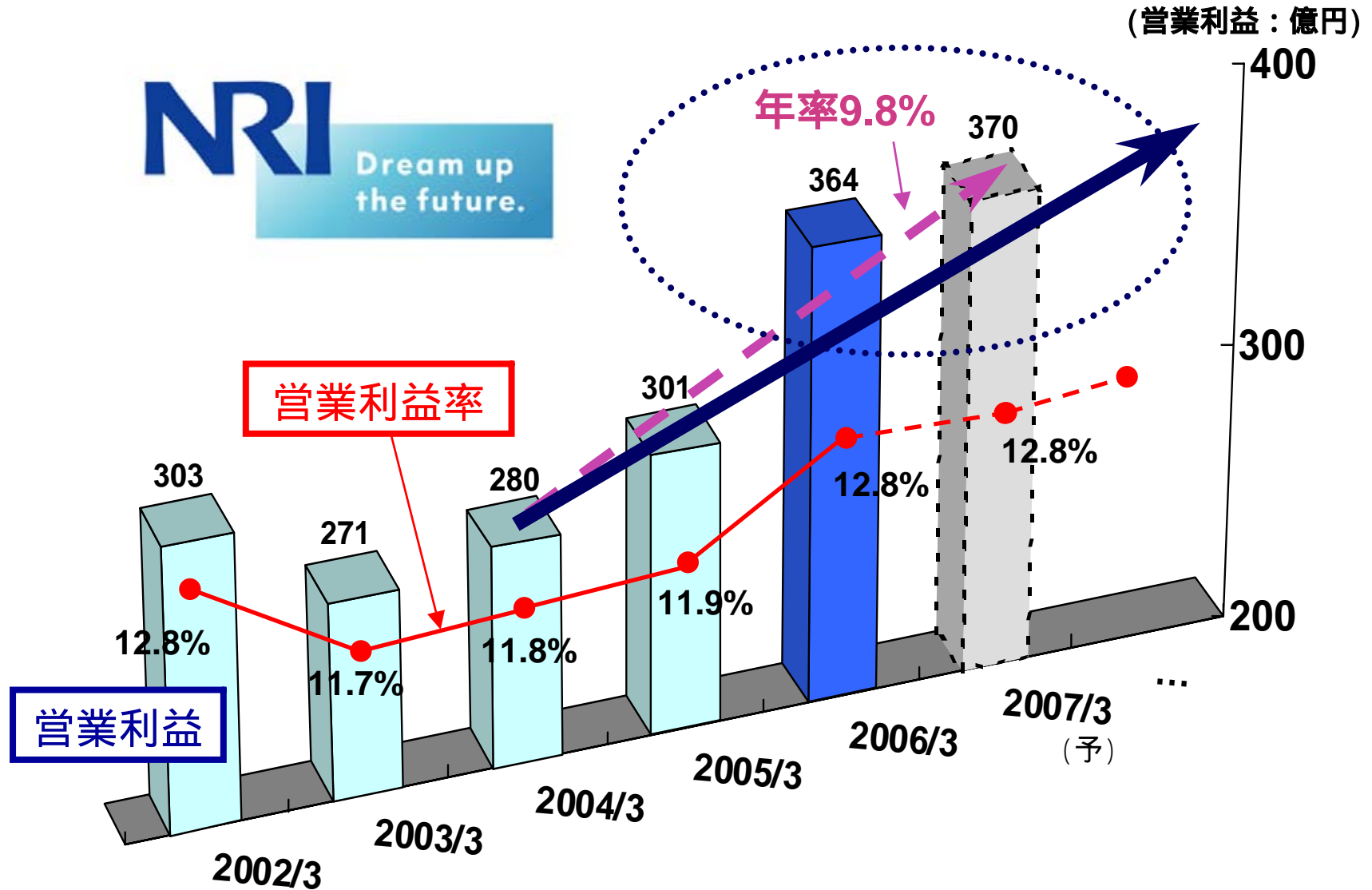
情報サービスマーケットの環境認識 ~ 4つの脅威



NRIの目指すところ ~ 顧客への『浸透』

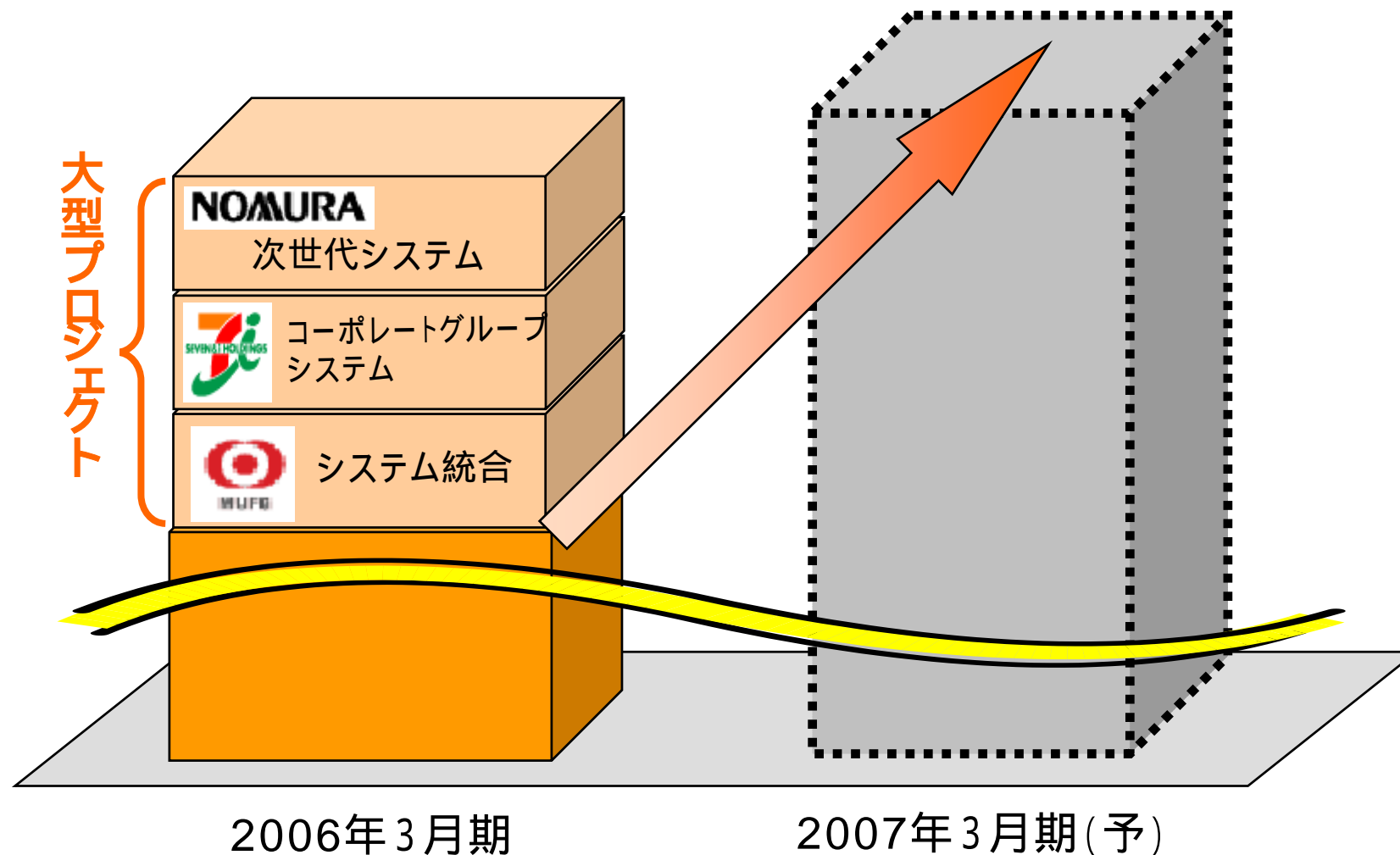


さらなる成長へ ~ 業績の推移



さらなる成長へ ~ 大型プロジェクト完遂をカバー

売上高のイメージ



2007年3月期の重点施策

持続的成長

(1)-1 主要顧客との新たな
パートナーシップ

(1)-2 得意分野での
ビジネス拡大

(1)-3 中長期成長に向けた
事業拡大

事業拡大
顧客への『浸透』

(2)-1 さらなる生産革新

(2)-2 人材

内なる
先行投資

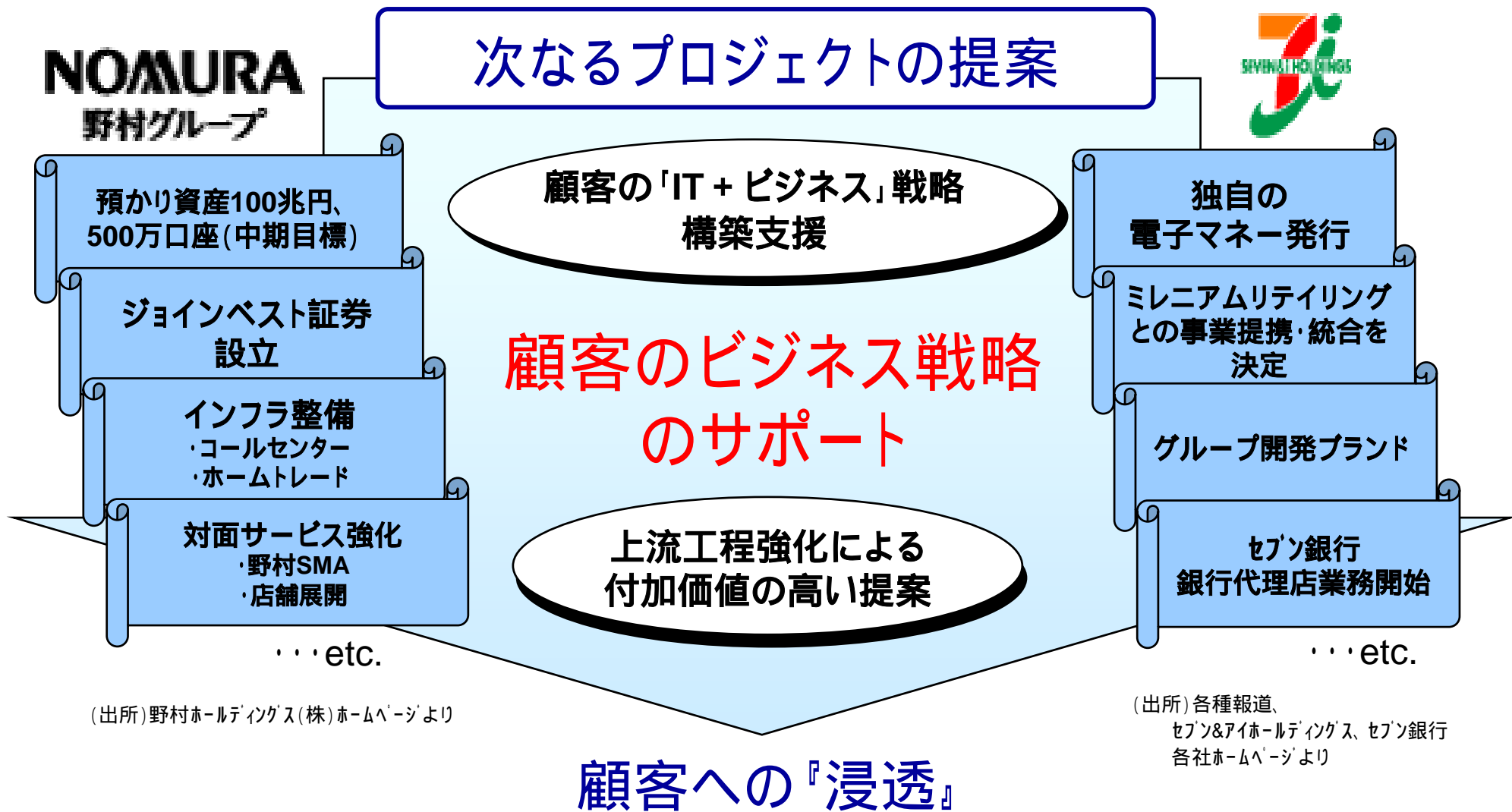
—● ナビゲーション力の強化

—● ソリューション力の強化

—● 成長領域の明確化

—● 成長を推進する仕組み構築

(1) - 1 主要顧客との新たなパートナーシップ



(1) - 2 得意分野でのビジネス拡大 ~ 金融向けビジネス

利用者本位の金融 クロスセル・チャネル改革

■クロスセル

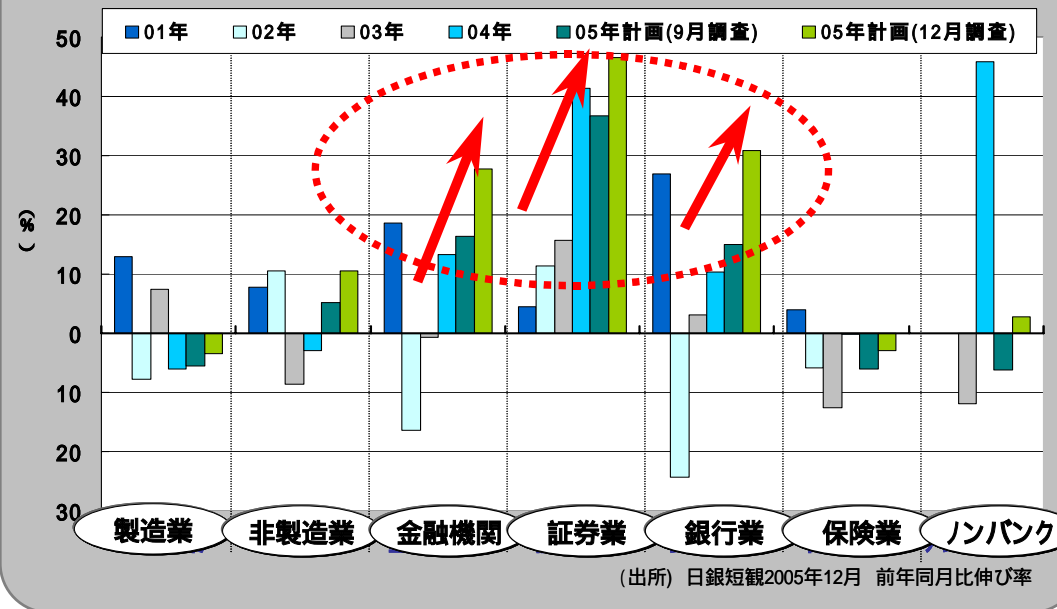
- ・銀行の総合金融サービス
会社化
預金、ローン、投信窓販、
証券仲介、保険窓販 etc
- ・個人向けアドバイザー
サービス
貯蓄から投資へ
富裕層向けサービス / SMA

■販売チャネル改革

- ・金融ネット取引の拡大と進化
コールセンター / CRM
- ・新型銀行(他業種からの参入)
への対応
- ・金融IT新技術
生体認証

(SMA : Separately Managed Account)

金融機関を中心に旺盛なIT投資計画



金融・資本市場の効率化 システム改革

■市場改革

- ・証券決済制度改革 (STP)
取引所、決裁機構、
株券電子化、投信受益権DVP
- ・銀行の証券システム再構築

■サービス効率化

- ・年金改革
- ・証券化促進
- ・金融所得一体課税
- ・金融機関の品質管理
売買執行・ファンド管理最適化
- ・グローバル金融商品拡大

リスク管理 / 投資家保護

■企業内経営関連規制

- ・金融機関の経営リスク管理
オペリスク / BCP・DR
バーゼル / 日本版SOX法

■個人保護規制

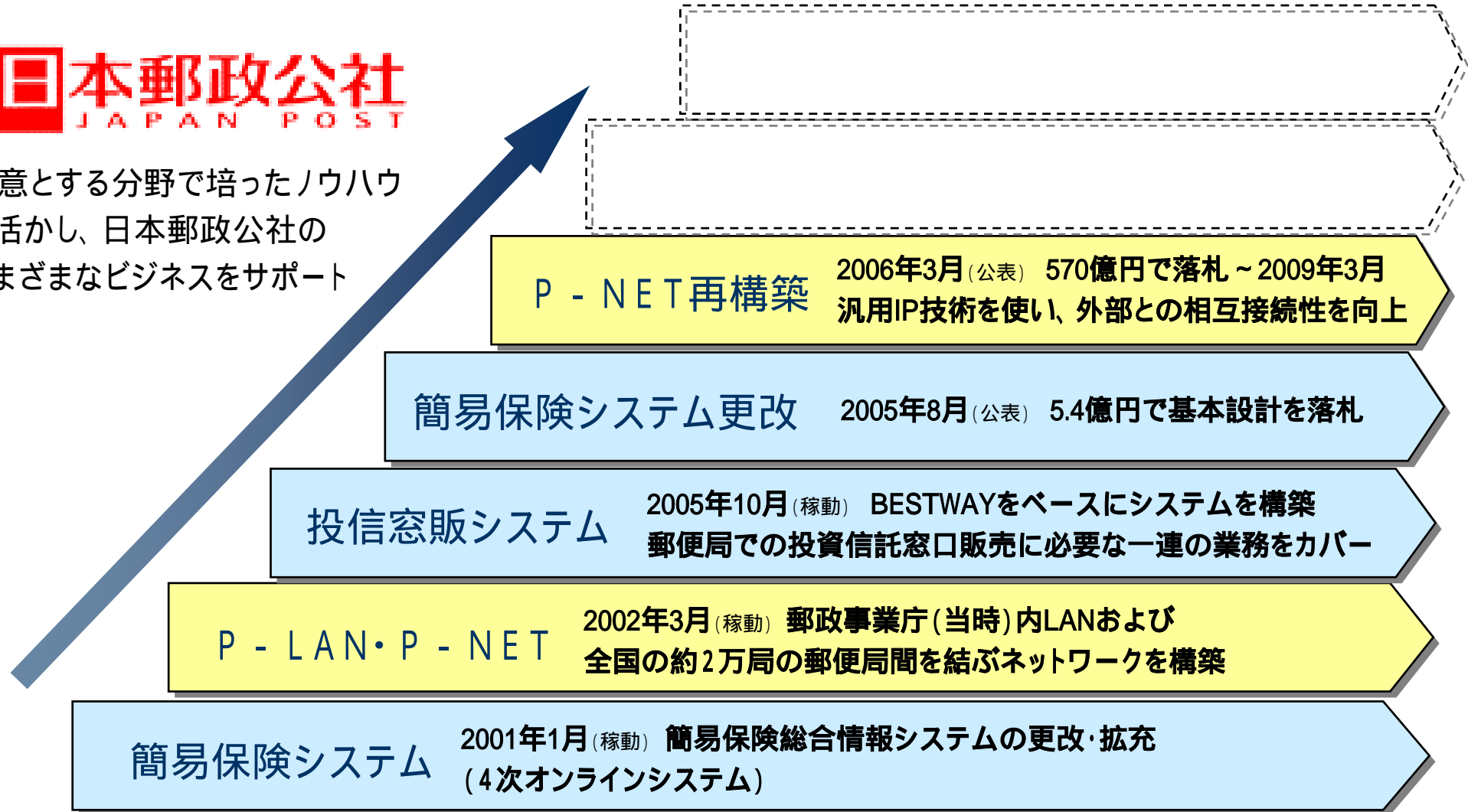
- ・情報セキュリティ管理
個人情報保護法
- ・金融の製造者責任
- ・個人へのリスク商品販売
投資サービス法
コンプライアンス強化

(BCP : Business Continuity Planning DR : Disaster Recovery)

(1) - 2 得意分野でのビジネス拡大 ~ 日本郵政公社



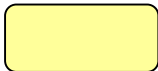
得意とする分野で培ったノウハウ
を活かし、日本郵政公社の
さまざまなビジネスをサポート



(注) 落札金額は税抜き



: 金融ノウハウ



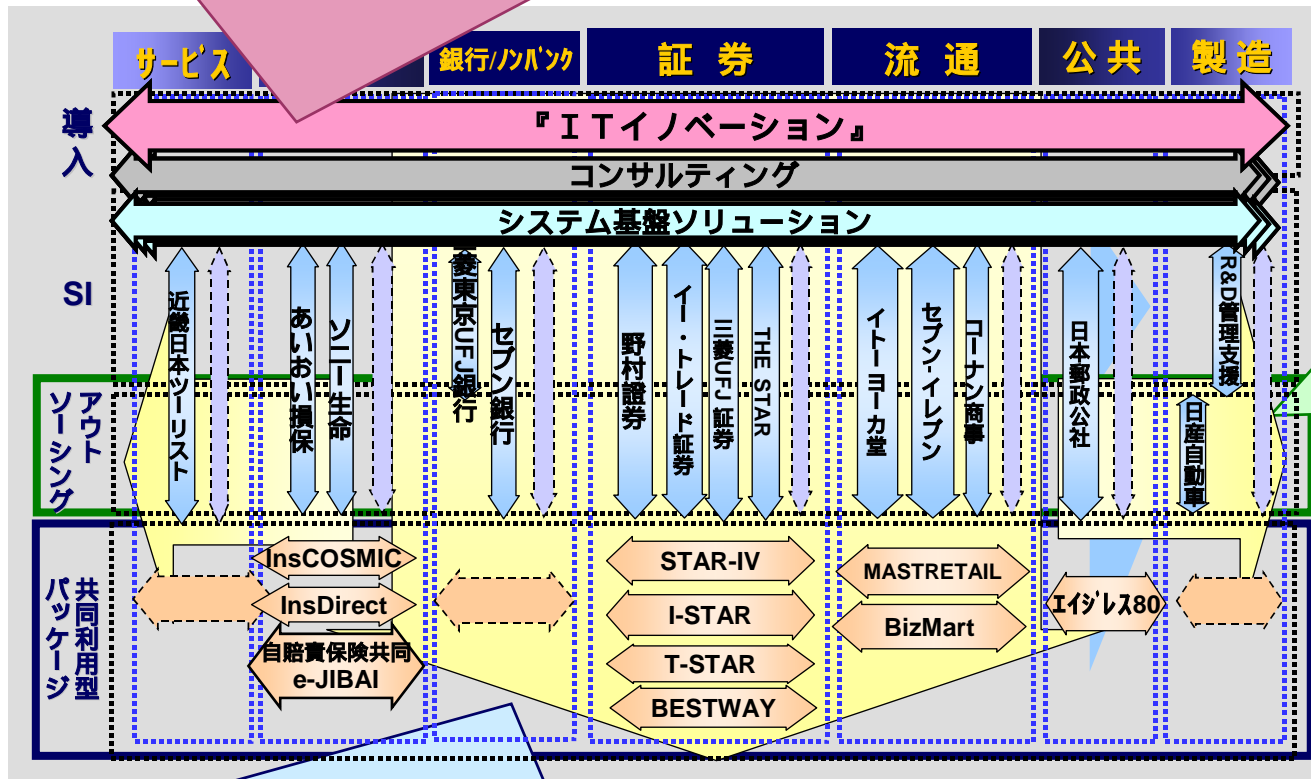
: システム基盤ソリューション

(1) - 3 中長期成長に向けた事業拡大

ITイノベーション

圧倒的優位性の確立

金融ITイノベーションセンター
経営ITイノベーションセンターの新設



アウトソーシング

運用ビジネス強化

NRIデータとの合併効果
新データセンターの建設

共同利用型システムの競争力Up キャパシティUp & 機能拡張

共同利用型/パッケージ

(2)-1 さらに生産革新 ~ NRIデータ合併での効果

NRI+NRIデータ

2006年4月1日合併

■ 総合力の発揮

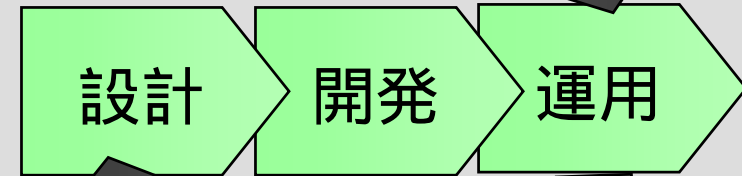
ナビゲーション
(業務改革提案)

ソリューション
(システム構築・運用)

システム
マネジメント
(データセンター運用
など)

■ 運用革新

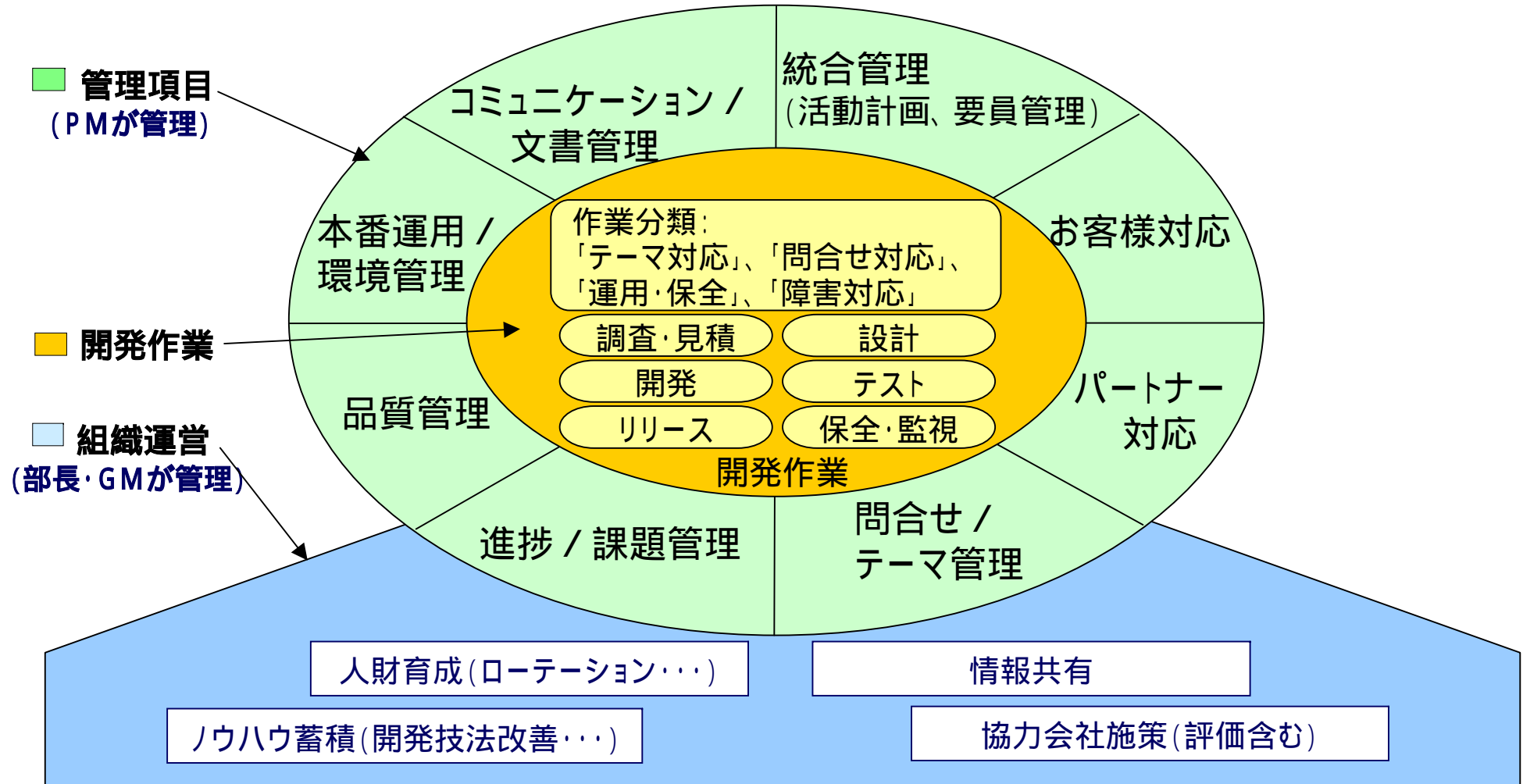
運用を考慮した設計



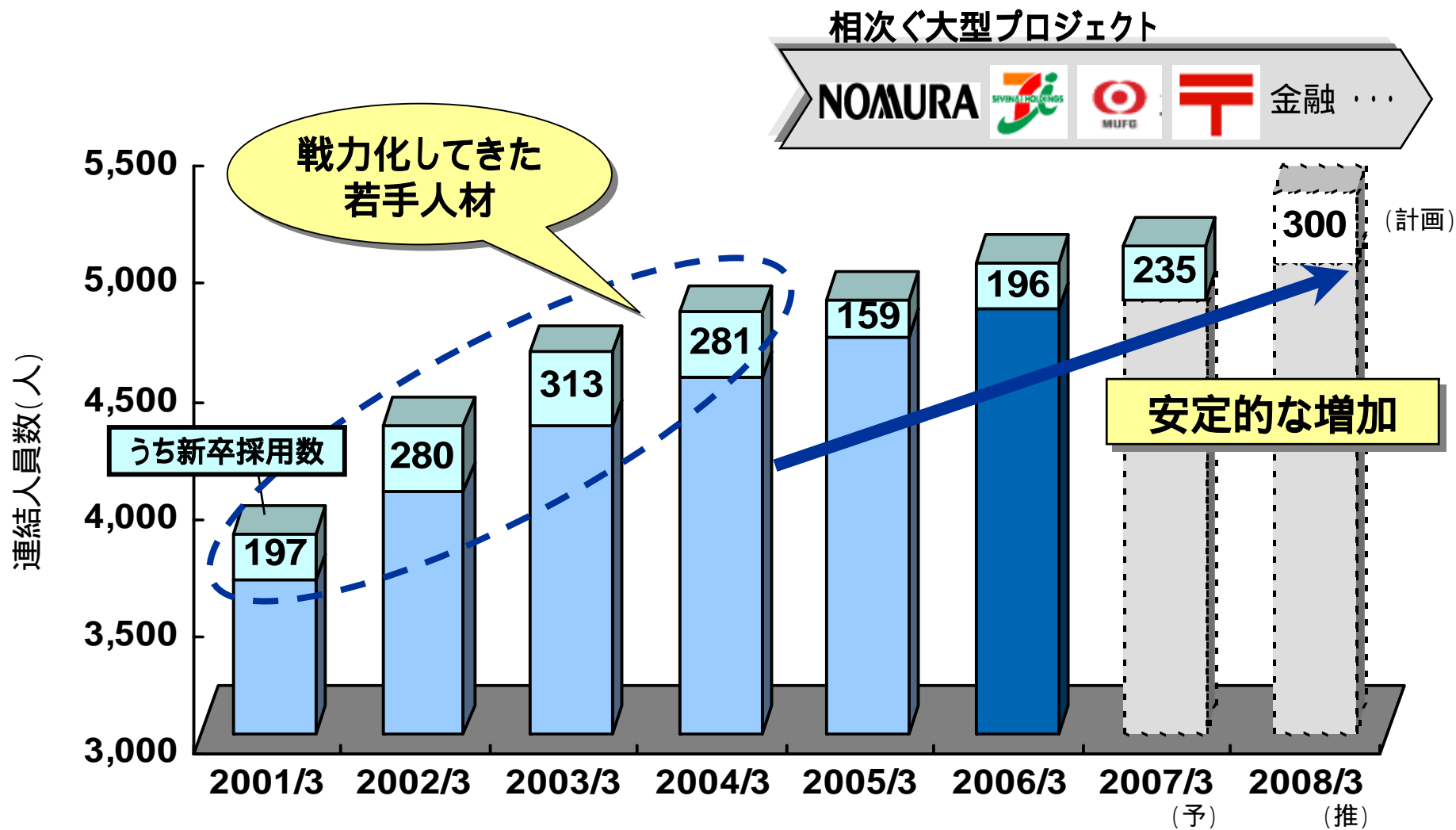
NRIグループとしてのトータルソリューション
品質の向上 と 競争力強化

(2)-1 さらなる生産革新 ~ エンハンスメント革新

エンハンスQMS エンハンス標準 マネージメント要件のモデル

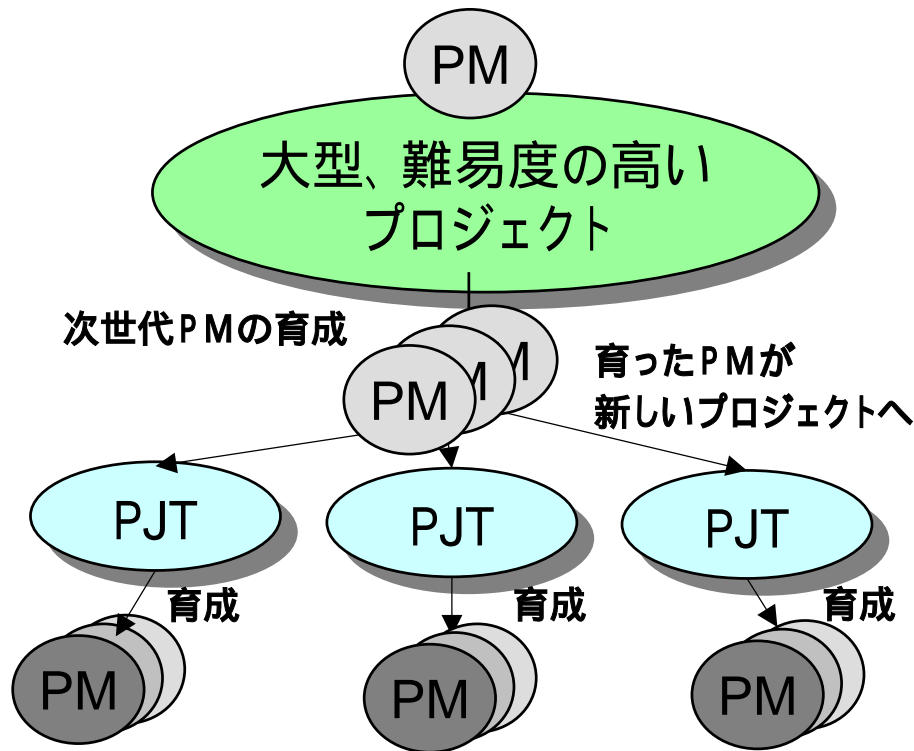


(2) - 2 人材 ~ 計画的な人員増



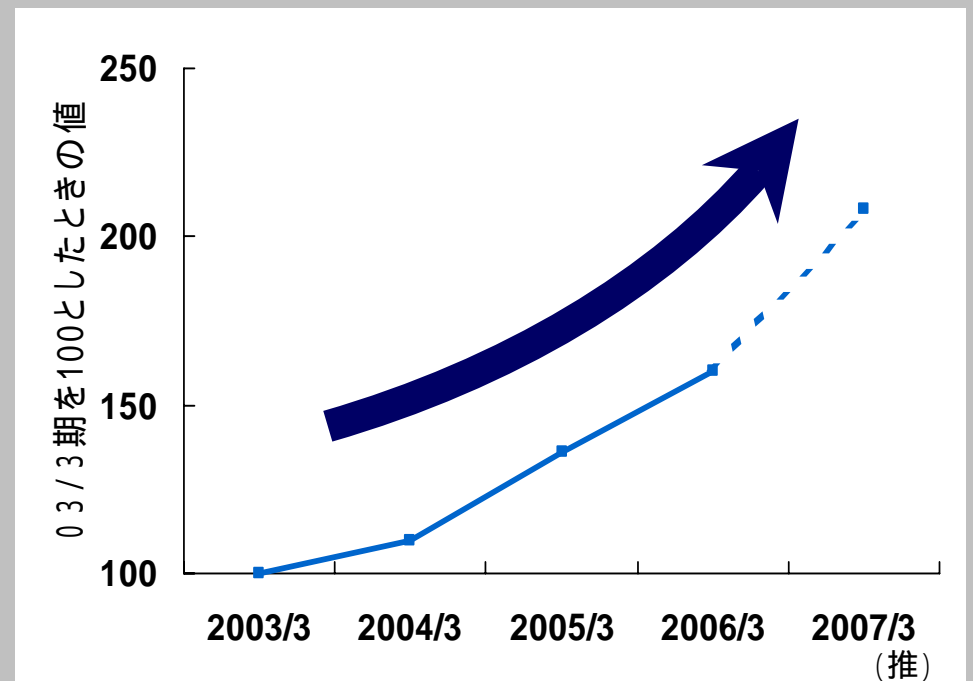
(2)-2 人材 ~ 優秀なPMの育成

■大型プロジェクト・難プロジェクトは、人を育てる



- ・若手人材の戦略的アサイン
- ・社内認定制度 (PM、ITA、SA、BA)
- ・各種研修プログラム

PM数の推移

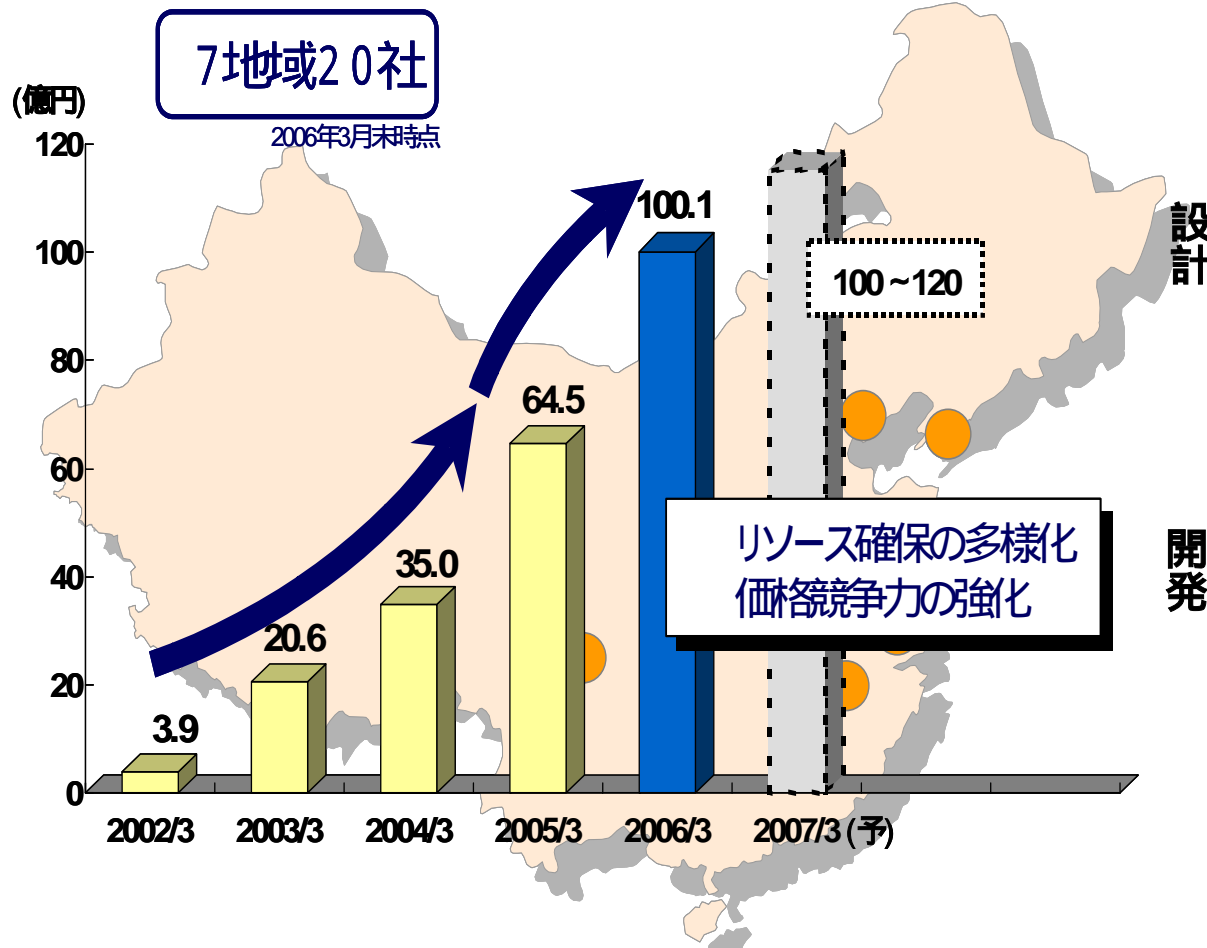


(各期にA,Bランクプロジェクトを担当したPM数。同一人物の重複分は除く)
プロジェクトランク...当社規定により、規模や難易度etc... によって
A~Cにランク付けされる

(2) - 2 人材 ~ 中国オフショア開発の進化

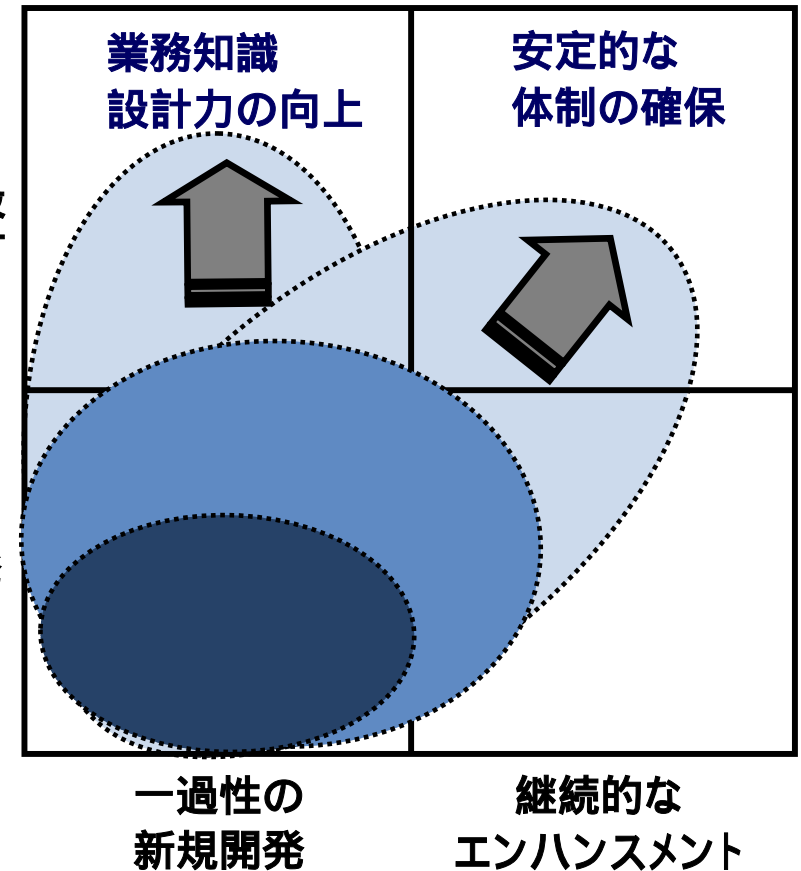
今までは

量的な拡大



これからは

質的な拡大



-
- ・本資料は、2006年3月期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。